

先端農業産業化システム実証事業費

平成25年度概算要求額 50.0億円(5.0億円)

地域経済産業グループ 地域経済産業政策課
03-3501-1697

事業の内容

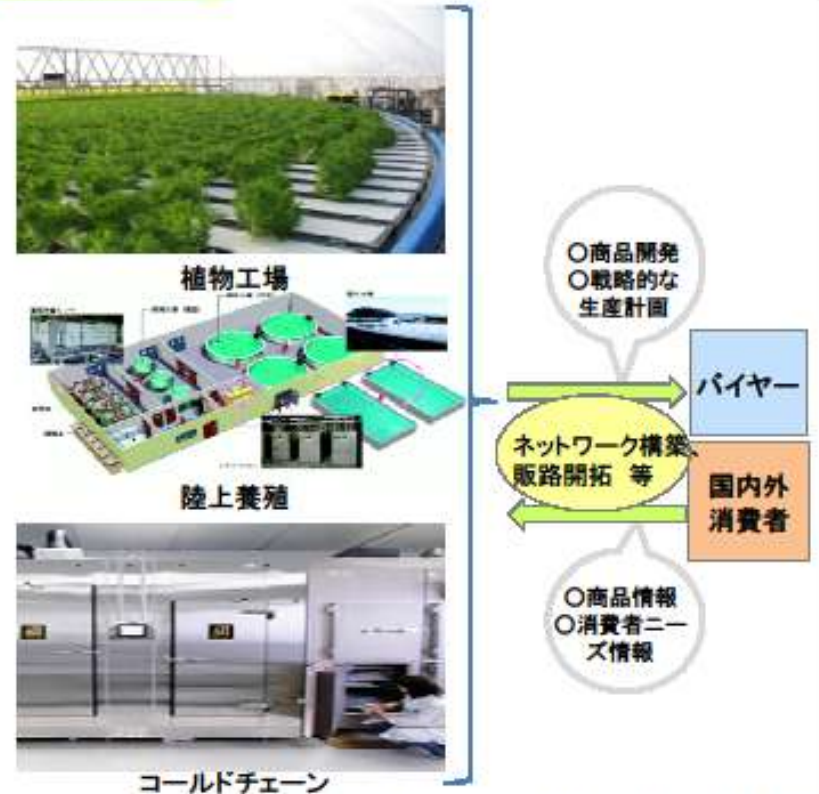
事業の概要・目的

- 経済産業省では、商工業の技術・ノウハウと農業(漁業・林業を含む)との連携を推進することにより、企業と農業の双方の成長・発展に取り組んでいます。
- 東日本大震災からの復興が進むにつれて、地域の基幹産業である農業の再生の必要性・緊急性は一層高まっており、地域においては我が国経済の活性化のため、農業の競争力を強化し、農業を成長産業にしていくことが重要です。
- このため、「工業」の技術、「商業」の経営ノウハウ等を総動員することにより、
 - ① 先端技術を活用した先端的農業システムの実証
 - ② ①の生産物等に関し、出口となる消費者ニーズを捉えた収益性の高い加工・流通システムの実証を、被災地で実施します。
- そして、その成果を全国に普及・展開していくことにより、我が国全体の農業の成長産業化と我が国経済の牽引を目指します。

条件(対象者、対象行為、補助率等)



事業イメージ



- ①先端技術を活用した先端的農業のシステム実証
 - ・農林水産物の高度生産管理システム(植物工場、陸上養殖等)
 - ・加工施設も含めたコールドチェーン 等

- ②左記の生産物等に関し、消費者ニーズを捉えた加工・流通・販売とその普及・展開

農業成長産業化実証事業費

平成25年度概算要求額 20.0億円（新規）

地域経済産業グループ 地域経済産業政策課
03-3501-1697

事業の内容

事業の概要・目的

- 地域の基幹産業である農業（林業、漁業を含む）の成長産業化を加速するため、工業の技術、商業のネットワークを農業に活用する農商工連携を通じ、先端技術を活用した農業産業化システムの実証・普及や、市場ニーズを捉えた効率的な加工・流通システム構築を行います。
- 具体的には、ターゲットとなる大規模な海外勢の市場を明確にし、
 - ①地域に散在する工業技術や商業ネットワーク等を活かした「先端的農業システム」（例：植物工場）の活用
 - ②市場ニーズを捉えた、収益性の高い効率的な加工・流通等を国内外のトータルパッケージで実施するチームを選抜し、市場獲得までの次世代農業モデルの実証を行います。
- 本事業を通じ、骨太の成功事例を創出するとともに、これを軸として、海外市場シェアの拡大と、関連技術・システムのパッケージの普及・海外展開等を図り、Made by Japaneseブランドを確立していくことで、我が国農業の成長産業化を目指します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



補助（2/3、10/10）

民間企業等

事業イメージ

